

平成30年度 放課後等デイサービス自己評価表

拓光園放課後等デイサービスセンターぱすてる

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	保護者意見	現状	改善目標
環境・ 体制設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	-	4	1	◇日曜日のみの利用の為、あまりわからない事もある。	・利用定員に対して更に広ければ活動しやすい ・他サービスとスペースを共有しているため狭い場合がある。 ・大人数での利用の際には手狭に感じることが多い。	・施設グループの空いているスペースを有効活用し、活動の幅を広げていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	1	1	3	◇日曜日のみの利用の為、あまりわからない事もある。 ◇利用者に対して職員数は少ないような気がする。	・配置数は的確であるが、サービス提供には不足を感じる。 ・基準を上回る配置することでさらに質の良いサービス提供になるものと考えられる。 ・他サービスとの兼務があり、十分ではない。	・専従職員の確保に努め、より専門的な支援を提供できるように努めます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1	◇日曜日のみの利用の為、あまりわからない事もある。	・段差が多い。スロープやステップを使用し配慮している。	・現状を維持するとともに不便を感じる点については改修を検討していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	-		・業務改善のために振り返りを行っている。	・支援提供前のミーティングで確認するとともに、都度感じたことを事業所内で共有し、改善に努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	-		・今年度より実施予定である。	・保護者からのご意見を大切にし、次年度以降の運営に役立てていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	-	1	4		・今年度より実施予定である。 ・ホームページや会報等で活動を周知していきたい。	・今年度よりホームページにて公開する予定です。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	2	3		・第三者評価を受ける予定であったが、先方の都合により未実施。	・次年度第三者評価を受ける予定です。
	⑧ 職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	-	-		・児童期の研修を中心に様々な研修会に参加している。	・今後も様々な研修に参加し、より良い支援に繋げていきます。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの計画を作成しているか	4	1	-		・課題分析を用いて、客観的な分析を行っている。	・Vinelandを活用し、さらに現在使用している課題分析表を用いて、的確なアセスメントを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1		・次年度よりVinelandを実施予定である。 ・現在は行っていない。	vinelandを活用することにより、児童が置かれている状況をより明確にアセスメントしていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	-	-		・ミーティング時に利用児童に合わせた活動の設定を行っている。	・前日の活動を踏まえてのプログラム立案を継続していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	3	-		・プログラムの多様化が必要である。	・次の段階を見据えた支援を心掛け、プログラムが固定化されないように改善します。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	-		・一人一人に応じた課題を提供して行く必要がある。	・集団活動の提供のほか、一人一人に合わせた個別課題の時間を確保します。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	-	-		・発達段階に合わせて、個別、集団活動を計画に取り入れている。	・今後も継続して実施し、児童一人一人に合わせた活動の提供を行います。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	-	-		・支援前にミーティングを行い活動やケースについて話し合っている。	・ミーティングの際により情報共有できるように努めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	4	1	-		・朝のミーティングの際に前日の活動の振り返りを行っている。 ・行えない時もあるが、スタッフ間で共通認識できるようにしている。	・活動終了後に情報共有が図られなかった際には、翌日のミーティングで情報共有できるようにします。
	⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	-	-		・ケース記録のほか個別の課題分析を行うことにより改善に努めている。	・より細かく記録できるように、職員の業務改善をさらに進めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	-	-		・最低でも6か月に1度見直し、ご家族と協議しながら次期の計画を作成している。	・計画の進行状況を日々の記録で確認し、状況によってモニタリングを行い計画の変更を行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	2	-		・活動の中で個別、集団等の活動をさまざま取り入れている。	・支援提供については組み合わせることができているが、地域との交流については不足があるため、交流行事を計画し、改善します。	

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5	-	-		・児発管並びにケース担当者が出席するように努めている。	・ケース担当者が出席できない場合においても、会議前にすり合わせを行い出席しています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時間の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	2	-		・電話や送迎時において情報交換をしているがもっと密にしていく必要がある。 ・直前になって情報交換することも多く、改善する必要がある。	・学校に対して情報の提供を求めています。 ・緊急時の連絡体制の構築に努めてまいります。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	2	3		・現在は受け入れていない。	・利用の希望があった際には、受け入れ態勢についての検討を行っていきます。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	3		・相談支援事業所、保護者からの情報がほとんどである。 ・情報共有を図ることにより、スムーズなサービス提供に努めている。	・地域の児童発達支援センター等と関係を強化し、保護者のご同意を得たうえで情報共有してまいります。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1		・得意なこと、不得意なことを一覧化して情報提供している。 ・同グループへの事業所に移行する際は、情報提供できているが、そのほかは乏しい。 ・様式を用いて情報提供を行っていく必要がある。	・児童及び保護者の合意を得たうえで、進路先の事業所等に対して情報提供をしていきます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1		・研修会があれば参加させていただいている。 ・直接的な連携ではなく、主催の研修会に参加している。	・発達障害者支援センターとのかかわりが少なく、関係の構築に努め助言を受けていきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	1	4	◇そういう機会を増やしてほしい	・地域で暮らす児童との関係が希薄であり、構築していく必要がある。	・地域のネットワーク構築から始め、関係づくりに努めてまいります。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	1		・弘前市の自立支援協議会に参加し、情報交換を行っている。	・開催される自立支援協議会に参加し、地域の事業所との情報交換に努めていきます。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	-	-		・送迎時及び連絡帳にて状況をお伝えしている。 ・送迎時にご家庭での困りごとについて話す機会を設け、共通認識を持てるようにしている。	・自宅におけるの困りごとに対して事業所でクリアしたうえで、ご自宅での実践を進めていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	-		・臨床心理士による保護者面談を実施している。	・ペアレントトレーニングの導入をさらに進めていきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	4	1	-		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行っている。 ・記載事項に変更があった場合は、速やかにお伝えしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変更点があった場合には、引き続き説明を心掛けていきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	-	-		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っている。 ・ご自宅へ伺うもしくは相談に来ていただき、面談を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みを継続するとともに、当事業所での解決が難しい場合には関係機関に引き継いでいきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	2	3	◇わからない	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する研修会は行っていないもの、連携支援には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催を継続するとともに、保護者の皆さんが集まれる場所を提供していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	-	-		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決システムを構築し、適切に処理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して取り組んでまいります。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・会報の発行はないが、行事等のお知らせは頻繁に行っている。 ・法人等の会報を配布しているが、事業所の会報も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの会報に加え、事業所独自の会報の発行に努めます。
	③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5	-	-		<ul style="list-style-type: none"> ・厳重に注意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のご同意のうえで情報共有等を行っています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	-	-		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に情報を伝えるなど特性に配慮した支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害や困り感に応じた意思疎通の方法を心掛けています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等の地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々との交流行事を計画する必要がある。 ・法人内の行事には招待しているが、事業所の行事には招待できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みを継続するとともに、事業所独自の行事を計画し、案内できるように努めます。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	4	-	◇わからない	・保護者に対し必要な際にお伝えしている。 ・マニュアルはあるものの保護者に周知できていない。	・各マニュアルについて、周知を図っていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	-	-	◇わからない	・避難訓練を実施している。	・今後も継続して取り組んでまいります。
	④⑩	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	-	-		・施設グループやその他の研修会へ参加し、伝達研修を行っている。	・今後も継続して取り組んでまいります。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	-	2		・身体拘束の事案がない。拘束時の取り決めについては事業所内で共通認識を持てるようにしている。	・事案が発生する場合に備え、事業所内で対応方法を再確認してまいります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1		・対応が必要な際は、栄養士と協議して食事提供している。	・利用開始時のアセスメントの際に保護者に伺うとともに、必要に応じて医師に意見を求めていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	-	-		・作成し、情報共有をすることで事故防止に努めている。	・ヒヤリハットを活用して、事故を未然に防いでいきます。